

親字	音訓	甲骨文・金文・古文・篆書 (殷・西周・春秋・戦国・秦)	説文解字 篆家	隸書 (前漢・後漢)	草書	行書	楷書 (南北朝から初唐)	正字体 楷書	日本上代 から 平安初期
彊	キョウ しいる つとめる つよい								五経・呂部 光明皇后・梁範論
強	キョウ つよまる つよめる しいる								五経・呂部
强									元通葛誌 干祿字書 龔賢指歸
当	トウ あたる あてる まさに								王勃詩序
當									璣玉集
彙	イ								龔賢指歸
形	ケイ ギョウ かた かたち								聖武天皇雜集
形									龔賢指歸
彦	ゲン ひこ								伝空海
彦									
彩	サイ いろどる								王勃詩序
彩									王勃詩序

【彊】干祿字書と五経文字は「彊」と「強」を異体字とする。説文解字は「彊」と「強」を別に掲載している。康熙字典は「彊」「強」「強」を別々に掲載している。陸軍幼年学校用字便覧は「彊」を「強」の通用字とする。説文解字は「強」の字体だが、秦代、漢代も「強」の字体なのでもしかしたら説文

解字が誤りなのかもしれない。【当】「當」の略字。「小」か「田」部に分類されることも多いが、本書では『増補改訂JIS漢字辞典』に倣って「互」部に載せた。「當」の「口」と「田」の左の縦線をつなげる字体がよく書かれ、その字体を九経字様では「訛」とする。「当」

平安中期 から 室町	江戸版本	康熙字典 1716年 部首・画数	弘道軒 四号	夏目漱石 坊っちゃん ころ	通字体活字 明治41~ 大正3年	漢字 整理案 大正8年	文部省 活字 昭和10年	当用 漢字表 昭和21年	太宰治 人間失格 昭和23年	当用漢字 字体表 昭和24年	教育漢字 平成4年	参考
		彊	彊		彊							彊 中国・台湾
												彊 香港
		強	強	強	強	強	強	強	強	強	強	強 中国
		强	强	强	强	强	强	强	强	强	强	强 台湾 香港
		当	当	当	当	当	当	当	当	当	当	当 中国
		當	當	當	當	當	當	當	當	當	當	當 台湾・香港
		彙	彙	彙	彙	彙	彙	彙	彙	彙	彙	彙 中国
												彙 台湾 香港
		形	形	形	形	形	形	形	形	形	形	形 中・台・香
		形	形	形	形	形	形	形	形	形	形	
		彦	彦	彦	彦	彦	彦	彦	彦	彦	彦	彦 中国
		彦	彦	彦	彦	彦	彦	彦	彦	彦	彦	彦 台湾 香港
		彩	彩	彩	彩	彩	彩	彩	彩	彩	彩	彩 中・台・香
		彩	彩	彩	彩	彩	彩	彩	彩	彩	彩	

は遅くとも明治時代には書かれていたようだ。【彙】2010年(平成22年)に常用漢字表に追加された。説文解字では入力不能な彙部に載っている。【形】五経文字は「形」を載せるが、陸軍幼年学校用字便覧は「形」載せた上で「形」を本字としている。

親字	音訓	甲骨文・金文・古文・篆書 (殷・西周・春秋・戦国・秦)	説文解字 篆家	隸書 (前漢・後漢)	草書	行書	楷書 (南北朝から初唐)	正字体 楷書	日本上代 から 平安初期
彫	チョウ ほる		彫	彫	彫	彫	彫	彫	彫
彫							彫		
雕	チョウ える きざむ ほる わし		雕				雕	雕	雕
彫									
彫	チョウ える きざむ ほる わし		彫						
彪	ヒョウ	彪	彪	彪	彪		彪	彪	
彪									
彬	ヒン あきら		彬	彬	彬		彬	彬	
份			份						
斌									
彰	ショウ		彰	彰	彰		彰	彰	
影	エイ かげ						影	影	影
影									
役	ヤク エキ		役	役	役		役	役	役
役									

【彫】中国では「雕」を使う。「彫」と「雕」は説文解字には別々に載っている。説文の「雕」の籀文は「彫」の字体。
【彬】説文解字の古文と康熙字典の古文が逆。
【彰】一画目が説文解字や康熙字典では横線だが当用漢字表も当用漢字字体表も縦線になっている。

【役】説文解字の古文に偏が「イ(人)」の字が載っており、それが康熙字典の古文に対応している。五経文字には「役」と偏が「イ」の字と両方載っており同字種としている。実際に書かれたものも江戸時代までは偏が「イ」のものが多い。

平安中期 から 室町	江戸版本	康熙字典 1716年 部首・画数	弘道軒 四号	夏目漱石 坊っちゃん こころ	通字体活字 明治41~ 大正3年	漢字 整理案 大正8年	文部省 活字 昭和10年	当用 漢字表 昭和21年	太宰治 人間失格 昭和23年	当用漢字 字体表 昭和24年	教育漢字 平成4年	参考
彫	彫	彫	彫	彫	彫		彫	彫		彫		彫
	彫											彫
雕	雕	雕	雕									雕
	彫											彫
彫		彫	彫									彫
			彫									彫
			彪	彪								彪
												彪
彬	彬	彬	彬									彬
彬												彬
			斌									斌
												斌
彰	彰	彰	彰				彰	彰		彰		彰
												彰
影	影	影	影	影	影		影	影	影	影		影
												影
役	役	役	役	役	役		役	役	役	役		役
												役

親字	音訓	甲骨文・金文・古文・篆書 (殷・西周・春秋・戦国・秦)	説文解字 篆書	隸書 (前漢・後漢)	草書	行書	楷書 (南北朝から初唐)	正字体 楷書	日本上代 から 平安初期
待	タイ まつ 教3帯①		待	待			待待	待	王勃詩序
		待							
律	リツ リチ 教6帯①		律	律	律	律	律律	律	王勃詩序
從	ジュウ ショウ ジュ したがう したがる 教6帯①	從	從	從	從	從	從從	從	聖武天皇雜集
從	②	從	從	從	從	從	從從	從	聖武天皇雜集
从	②		从						
徐	ジョ 常①		徐	徐	徐	徐	徐徐徐	徐	王勃詩序
徒	ト 教4帯①		徒	徒	徒	徒	徒徒徒	徒	王勃詩序

【從】「從」の略体。説文では「从」は「相聽也」、「從」は「隨行也」と意味を分けている。「從」の「彳」と「止」を合わせると「從=辵」となり『異体字辨』に載っている「辵+从」の異体字が出来上がる。説文解字の大徐本が「辵+从」の字体で、段注の字体が「從」の字体。

【徒】説文解字では「辵」部にある。「徒」の「彳」と「止」を合わせると「徒=辵」となり『異体字辨』に載っている「辵+土」の異体字が出来上がる。説文解字の大徐本が「辵+土」の字体で、段注本の字体が「徒」の字体。

平安中期 から 室町	江戸版本	康熙字典 1716年 部首・画数	弘道軒 四号	夏目漱石 坊っちゃん ころ	通字体活字 明治41~ 大正3年	漢字 整理案 大正8年	文部省 活字 昭和10年	当用 漢字表 昭和21年	太宰治 人間失格 昭和23年	当用漢字 字体表 昭和24年	教育漢字 平成4年	参考
待	待	待	待	待			待待	待	待	待		待 中国・香港
												待 台湾
律	律	律	律	律			律律	律	律	律		律 中・台・香
從	從	從	從	從	從	從	從從	從	從	從	從	從 中国
												從 台湾・香港
徐	徐	徐	徐	徐			徐徐	徐				徐 中・台・香
徒	徒	徒	徒	徒			徒徒	徒	徒	徒	徒	徒 千祿(通) 中・台・香
												徒 異体字辨

